

# 白 い ま ど

## 病院理念

私たちは  
利用して下さる方ひとりひとりのために  
最善を尽くすことに誇りをもつ

12月号  
DECEMBER 2011



院内コンサート  
12月10日(土)  
15:00~(ホール)  
.....  
クリスマスキャロリング  
12月23日(金)  
17:30~(各病棟)

## X' mas

毎年12月は、院内各所にクリスマスツリーが登場します。

ホールにある一番大きなツリーの脇では、クリスマスコンサートが開催されます。

また病棟を回って歌うキャロリングでも、クリスマスの雰囲気をお楽しみいただけます。

S E I R E I



社会福祉法人聖隷福祉事業団

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12  
☎053-474-2222  
発行責任者 病院長 鳥居 裕一

総合病院 **聖隷浜松病院**



日本医療機能評価機構



医療の質奨励賞受賞病院

日本医療機能評価機構認定  
地域医療支援病院

●面会時間 (月~土曜)14:00~20:00 (日曜・祝日)10:00~20:00 (小児科)15:00~19:00

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/hamamatsu>

# 外 来 紹 介

## 肝臓外来



担 当

消化器内科 主任医長

しみず えりな

清水 恵理奈

出身地／愛知県

出身校／浜松医科大学(1990年卒)

趣味／旅・読書・猫と遊ぶ

肝臓外来ではB型肝炎やC型肝炎などのウイルス性肝疾患を中心に、自己免疫性肝疾患、薬剤性肝障害、メタボリック症候群と関連した脂肪性肝疾患などの診断、治療を行います。ウイルス性肝炎は進行して肝硬変や肝細胞癌を発症することがあります。しかし早期から通院し、必要な時期にインターフェロンや抗ウイルス薬を軸とした治療を行うことで、進行や発癌を抑えるだけでなく、ウイルスの完全な排除も可能となりました。新薬を含め治療は進歩しているため、ウイルス性肝疾患を撲滅するという希望もできました。

一方で脂肪性肝障害は、近年急速に増えてきています。脂肪性肝障害も肝硬変や肝細胞癌との関連が指摘されているため、適切な診断と長期的な対応が必要となります。

肝臓疾患の多くは進行するまで自覚症状はほとんどありません。手術や輸血を受けられた方、お酒の好きな方、メタボリック症候群を指摘された方などは、血液検査を受けていただき、肝機能異常を指摘された場合には専門外来の受診をおすすめします。

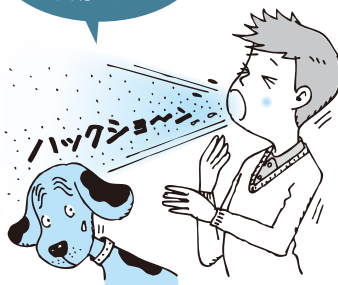
# 特集 インフルエンザ

## インフルエンザとは

インフルエンザの原因となるインフルエンザウイルスは、A型、B型、C型に大きく分類されます。このうちA型には多くの変異株があり、世界的な大流行を引き起こします。香港型、アジア型、ソ連型といったタイプもすべてA型です。記憶に新しい2009年に流行した新型インフルエンザ（A/H1N1）は今までトリやブタにしか感染しなかったウイルスが、ヒトからヒトへ感染するようになったものでした。このため新型インフルエンザは毎年流行をくりかえす季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なり、多くの人が免疫をもっていないために感染が拡大しました。季節性インフルエンザでは乳幼児や高齢の方が重症になりやすいのに比べ、新型インフルエンザでは乳幼児

や成人を含め、より幅広い年齢層の方が重症になる可能性があります。この新型インフルエンザ（A/H1N1）は2011年1月末に流行のピークを迎えたあと、流行がほぼ治まった状況となったため、4月1日より通常の季節性インフルエンザとして取り扱うことになり、その対策も通常のインフルエンザ対策に移行しました。しかし、次の新型インフルエンザウイルスはいつ出現するのか、誰にも予測することはできません。人間界にとっては未知のウイルスであり、ほとんどのヒトは免疫を持っていないため、急速な世界的大流行（パンデミック）を起こす危険性があります。

咳をすると  
飛沫が飛びます！  
咳エチケットは  
大切です。



インフルエンザは患者さんのくしゃみや咳で吐き出される飛沫を他の人が吸い込んだり、ウイルスのついた場所（ドアノブやスイッチなど）を触れた手で鼻や口に触れることで粘膜を通じてウイルスが体内に入り感染します。潜伏期（ウイルスを吸い込んでから発病するまでの期間）は、最短16時間、平均約2～3日とされています。インフルエンザを発症すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身症状が突然現れます。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。また、気管支炎や肺炎を併発しやすく、まれですが脳炎を起こすこともあり、高齢者や乳幼児、呼吸器疾患や心疾患などの慢性疾患を持っている人では重症化し、命にかかわることもあります。

### インフルエンザの予防は



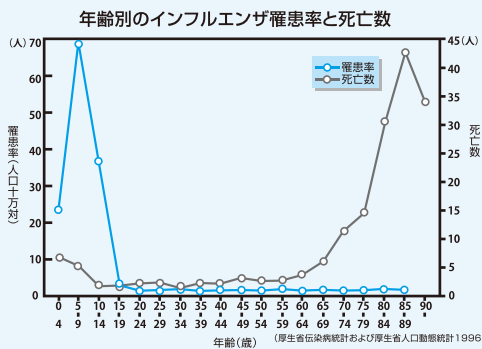
- 1 栄養と休養を十分にとる
- 2 人ごみを避ける
- 3 適度な温度、湿度を保つ
- 4 手洗い、うがいの励行
- 5 マスクの着用
- 6 ワクチンの接種—— などがあります。

ワクチンはインフルエンザの発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぎます。ワクチンは接種してから、実際に効果を発揮するまでに約2週間かかるため、11月～12月上旬までに接種しておくのがよいでしょう。ただし、ワクチン接種が禁忌の方もまれにみられるため、接種の可否につきましては、医師に相談してください。

インフルエンザにかかった場合、抗インフルエンザウイルス薬の服用を適切な時期（発症から48時間以内）に開始すると、発熱期間は通常1～2日間短縮され、ウイルス排泄量も減少します。流行期にインフルエンザの症状が出たら、早めに医師の診察を受けるようにしましょう。またインフルエンザ発症前と発症してから3～7日間はウイルスを排出し、解熱後もウイルスを排出する場合があります。咳などの症状が続いている場合には、不織布製マスクをするなど、周囲に感染を拡げないようにすることが大切です。

呼吸器内科 阿部 真弓  
森岡 慎一郎

参考資料：厚生労働省HP インフルエンザ対策、矢野邦夫「感染予防の話」静岡新聞社



## 臨床検査部 糖尿病療養指導士



糖尿病は合併症が怖い病気ですが、自覚症状に乏しいため定期的な検査が大切になります。臨床検査部では、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士とチームを組み糖尿病の患者さんの治療・指導にあたっています。

療養指導は糖尿病の治療そのものであることより、糖尿病とその療養指導全般に関する知識を有する日本糖尿病療養指導士が指導にあたっています。

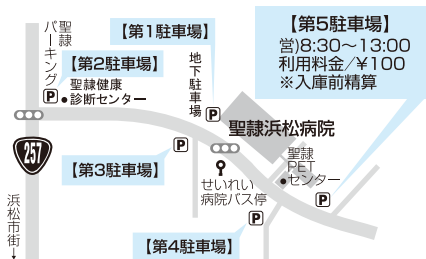
私達臨床検査技師は以下のことを担当しています。

- 糖尿病の入院患者さんを対象とした糖尿病教室で検査の目的や意義、検査データの見方についてのお話をしています。
- インスリン導入時に自己血糖測定器（SMBG）を使用される際、一緒に血糖を測定しながら使い方をお話しています。その後の測定器のトラブルにも対応しています。
- 看護師が使用する血糖測定器が正しく測定できているか、メンテナンスや修理を行っています。

このように、測定器の正しい使い方や検査についての知識をもって頂き、患者さんが糖尿病と向き合ってもらえるようサポートすることが私達の仕事です。

## 第5駐車場ののご案内

建築工事に伴い、ご利用の皆さまにはご迷惑をお掛けしております。駐車場混雑緩和の為、11月21日より新たに駐車場を設置しました。こちらをご利用ください。



### 【お願い事項】

- 料金は、入庫前精算となります。
- 領収書については営業時間内のみ発行可能です。
- 営業時間外においても出庫は24時間可能です。
- 駐車場内における盗難、損傷等については責任を負いません。

## 年末年始診療体制のご案内

- 通常診療** 2011年12月28日(水)まで  
**休診** 2011年12月29日(木)～2012年1月3日(火)  
**通常診療** 2012年1月4日(水)から

2011年12月29日(木)～2012年1月3日(火)は休診のため、救急外来のみの診療となります。救急受診の場合は、事前にお電話(下記番号)にて相談のうえご来院ください。

☎(代表) **053-474-2222**

### 小児科の時間外診療について

当院の小児科専門外来を受診中の患者さん以外の方につきましては、日中は当日の休日当番医を、夜間は浜松市夜間救急室を紹介しています。休日当番医については新聞や市の広報等をご覧の上、事前に当番医に電話でお問い合わせください。

夜間救急室 ☎ **053-455-0099**

浜松市中区伝馬町311番地の2 浜松市医師会館1階